

## 国策

### H19：海洋基本法施行

- ・海洋資源の開発及び利用の促進
- ・海洋調査の推進
- ・海洋関連研究技術開発の推進等

### H20・H25：海洋基本計画

- ・海洋資源の開発・利用
- ・科学的知見の充実
- ・海洋教育の充実、海洋に関する理解の増進

### H25：海洋国家基幹技術の推進

- ・次世代海洋資源調査システム
- ・未踏領域探索システム

### H25：海のジパング計画

- ・海洋資源の成因に関する研究
- ・海洋資源調査技術の開発

## 社会

### H22：海洋立国への成長基盤の構築に向けた提言（経団連）

- ・海洋資源探査の技術開発
- ・資源探査船の開発
- ・人材の育成



- 海洋開発を推進する人材の育成
- 海洋探査技術開発、研究の推進

## 神戸大

### H18：神戸大学ビジョン2015

### H27：武田ビジョン

- ・世界トップクラスの教育研究機関
- ・先端研究・文理融合の推進

### 神戸大学の特色

- ・文理のバランスのとれた総合大学
- ・海事科学研究科と附属練習船の存在

### 特色ある研究大学へ

- ・「神戸フォルテ」の明示と自助展開
- ・概算要求による神戸フォルテの強化
- ・連動した強化策の実行

### H25：JAMSTECとの包括連携

- ・海洋関連の教育研究の拠点形成
- ・掘削科学教育研究の拠点形成

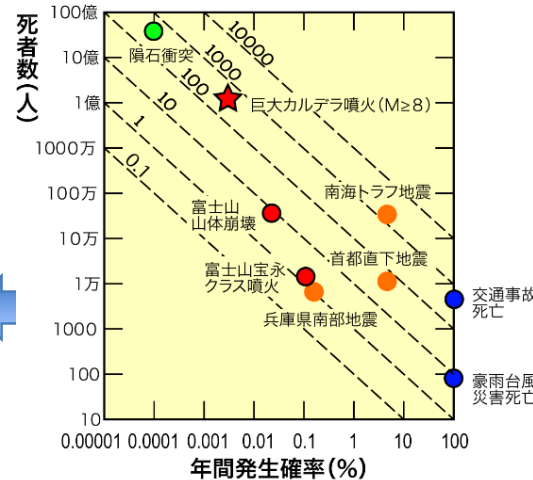
### H25：海事科学部の改組

- ・海技者教育の実績を踏まえ時代に対応
- ・高度化と総合性を備えたグローバル海洋人材の養成

### H27：日本初「惑星学専攻」への改組

- ・惑星地球進化の包括的理解
- ・観測海洋底科学分野の設置
- ・マグマ研究の国際的拠点

### カルデラからの試練：巨大噴火



### 海底カルデラからの恩恵：熱水鉱床



- 海洋立国を牽引する人材の育成
- 特色ある海域先端研究の推進

# 目的・効果

Kobe Univ. Ocean-Bottom Exploration Center (KOBEC)

## 教育の目的

海底探査技術を備えた  
高度専門職業人の育成

「深江丸」を用いた海洋底構造探査実習

- ・日本で唯一の、観測、解析及び応用を含む海洋底探査実習
- ・マルチナロービーム測深・地震波観測・磁力観測による地形・地下構造探査
- ・海洋底構造探査の基礎を習得
- ・理学部／海事科学部学生対象
- ・日本掘削科学コンソーシアムと連携した他大学学生の受け入れ

平成28年度  
概算要求

海洋底探査センター  
(KOBEC)の設置

- ① 海底巨大カルデラ  
噴火予測に向けた  
先端研究
- ② 海底資源開発に向  
けた先端研究
- ③ 海底探査技術を備  
えた高度専門職業  
人の育成

## 研究の目的

火山大国日本の試練と恩恵  
「巨大海底カルデラ」の総合研究

「深江丸」を用いた海底カルデラ調査

- ・鬼界・鹿児島湾カルデラ群の構造探査
- ・陸上調査との融合
- ・巨大カルデラ噴火メカニズムの理解
- ・マグマ活動のモニタリング
- ・レアメタル等を含む黒鉱型熱水鉱床の評価
- ・次世代海底探査技術の開発
- ・JAMSTEC調査船との連携
- ・「ちきゅう」による超深度掘削

## 戦略及び評価指標との関連性

- ◆神戸大学のビジョンを達成するための戦略（研究）として、「新領域創出に向けた先端融合研究の推進とその成果の社会実装」を掲げ、研究領域を創設または先導できる先端研究の推進・深掘りとともに、理系及び生命系の境界・複合領域研究、人文社会系の境界・複合領域研究を開拓・加速する ⇒ 「戦略1：先端研究の推進」
- ◆その戦略を達成するための取組として位置づけ、以下のとおり評価指標を設定 ⇒ 機能強化を強力に加速
  - 【文部科学省提示指標】 ・「世界最高水準の研究」⇒ 「論文数の状況（Wos論文数）」
  - 【本学独自指標】 ・「理系及び生命系の境界・複合領域研究を開拓・加速」⇒ 「深海掘削計画に関する国際委員会の開催回数」
  - ・「研究領域を創設または先導できる先端研究の推進・深掘り」⇒ 「海底カルデラに関する航海調査回数」

神戸大学の特色を生かした  
国内唯一の教育・研究拠点の形成